

# 活動報告書

団体名：相模原こもれび

活動場所	活動地C地区 (新規活動地)		記録者	平野和夫・海野基之・杉山信義			
活動日時	平成28年5月14日(土) 9時～14時			天候	晴れ		
参加者	浅川、海野、遠藤、岡野、神谷、黒岩、杉山、高橋、鳥飼、中尾、長沢、西原、野口、野々村、平野、深澤、本田、松浦、村松、目黒(夫妻)、他：体験参加3名						計24名
活動内容	C地区(平成28年度追加活動地)：放置林の整備として低木常緑樹の伐木・下刈、林内整理						
使用道具	手鋸、なた、チェーンソー、刈払機						
機器操作者	チェーンソー			刈払機			破砕機
	浅川、黒岩、沼澤、野々村、村松、平野			浅川、海野、神谷、野々村、平野、中尾、西原、長沢			
地区別	A地区	B地区	C地区	D地区	G地区	H1地区	H2地区
作業内容			伐木・下刈・林内整理				

**作業内容：**・平成28年度、新たにパートナーシップを結んだオルガノ・大沼変電所間の交通量の多い通りに面した萌芽更新区域の隣の区域を、活動地C地区の追加区域として整備しました。

- ・整備前は、シュロ・アオキ・シロダモなどが密集した暗い森で、下草の生長が阻害されている状態でした。(1)
- 萌芽更新地側からチェーンソー・なた・手鋸を持ち、藪の中へ飛び込んで低木を切り出し、刈払機で下刈りをしましたが、B地区、E地区のように草が伸び伸びと成長できる環境には成らず、中低木が太陽光を遮っている為、林床には光が届き難く植物の成長を改善するためには間伐が必要と考えます。(2)
- ・伐採した低木は枝打ちして小片に切断し、林床に広げ昆虫・微生物に分解してもらい森に還元させます(3、4)
- ・今活動の結果、林内の見通しは飛躍的に改善され林の端から端までも見通せるようになりました。(5)



## 次回の予定

・5/25(水) 定例活動日  
(C地区新活動地の林内整理)

## 当面の予定

・C地区終了後、H地区の下刈り・伐木

## 報告事項・トピックス

- 中低木を伐採した後の材を小片にする作業は、なたと手鋸を主体にチェーンソーを加えて行なうが、伐木用の中型チェーンソーでは重く長時間の作業が困難なので、作業効率向上のため小型チェーンソーの導入を予定。
- 気温が高くなり日陰の作業でも汗だくになる陽気になり、熱中症対策とお昼の弁当の腐敗防止にも注意が必要となっている。
- やぶ蚊・スズメバチは見かけなかったが今後は作業時の対策も必要。